

saveMLAK ニュースレター

第25号

法政大学において震災訓練プログラム saveMLAK メソッドのワークショップ を実施

2014年3月14日、法政大学市ヶ谷図書館において、「saveMLAK メソッド」による震災訓練を実施しました。参加者は3キャンパスの図書館職員および委託先業者45名です。

最初にオリエンテーション、次に勤務館が大震災に遭遇したと仮定したシミュレーション演習を80分、演習実施後に講評・質疑応答、全体として2時間のコンパクトな形での実施となりました。

法政大学図書館では、研修成果を無駄にせぬよう、振り返りと今後の震災対策について討議を続けているところと伺っています。研修のみに終わらせない継続的な取組みこそが重要です。反省会での感想をいただきましたので、抜粋して掲載させていただきます。

今回、当日の運営はナビゲーターが2名、ナレーションが1名と少人数でした。私は防災センター・ナレーションを初めて担当させていただき、自身にとっても良い学びになりました。



「saveMLAK メソッド実習を受けて」
(法政大学図書館の皆様)
(管理職)

- ・ヘルメットは個々で身近に置いておく方がよいと思う。離れていれば取りに行けない状況もあり得る。
- ・少人数の状況で学内防災放送の指示通りに動くことが果たして適切なのか、マニュアル通りでなく、個々人が最良と思える判断をすることになるのではないか。
- ・基点（本部）設置が必要ということは分かった。修正しながら行動を決めていったが、実際の場で上手くできるとは限らない。何度もシミュレーションしておくことが必要と思う。
- ・自分の班でも、最初は学生の力を借りるよう動いたが、考え直した。やはり学生の避難を優先すべきで、二次災害の危険にさらすべきではないと判断した。

(課員)

- ・フロアマップを各自の机の中等に用意しておく必要性を感じた。
- ・現場のサブリーダークラスの人までは、救急箱の在り処が伝わっていないようだった。ボールがどこにあるかなども大切な情報。情報共有が重要である。
- ・実施してみて、暗い中でみな興奮状態になり、意思決定がなかなかできなかった。館内に降りている館員が何をすべきか、頭が働かなかった。
- ・書庫など、暗い中でどれだけ非常口や避難経路が分かるだろうか。非常口表示も埃が舞って見えなくなるのではないか。

【市東 礼位子】



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にさせていただいて構いません。

4月の出来事と今後の予定

2014年4月22日

第37回 saveMLAK MeetUp 開催

2014年5月21日

第38回 saveMLAK MeetUp 開催

2014年6月22日

saveMLAK 報告会 2014

～社会教育・文化施設の救援・復興支援～

複数会場（横浜、大阪）で開催予定



saveMLAK 統計 2014年4月現在

ML アカウント数	284 (±0)
総ユニーク wiki 編集者	
アカウント数	499 (+10)
wiki 編集回数	145,723 (+176)
総 wiki ページ数	29,453 (+2)
総 wiki 施設ページ数	25,674 (±0)

saveMLAK 会計 2014年4月期収支

4月末日現在

<収入>

受取利息	126	利子
計	126	

<支出>

預り金	8,705	前年度 源泉所得税
計	8,705	

4月末日現在 残高

1,453,861 円 (3月比 -8,579 円)

第3期 2013年度決算は4月22日無事監査を終えました。

【ファンド係：赤塚 昌俊】

編集後記

今回は2ヶ月分を同時発行、今月も編集が大変遅くなってしまい、楽しみにしている人には申し訳ありませんでした。その代わりとは言いがたいのですが、MLAK君にこどもの日の象徴である兜をかぶせてみました。他にも色々なバージョンを作れたらと思います。

次号は発行日である10日に間に合うよう、編集担当もろとも頑張ります。

【今号編集担当：富澤 美典】

編集発行：saveMLAK プロジェクト
発行日：2014年5月21日（第25号）
発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル
さくら Works<関内>408
アカデミック・リソース・ガイド株式会社内
saveMLAK プロジェクト
E-mail：pr@savemlak.jp
URL：http://saveMLAK.jp/



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複製・配布等、自由にしていただいて構いません。